

お客さまこんにちは

# 桐生スケートセンター

〒376-0034 群馬県桐生市東7-3-50  
TEL: 0277-44-9317 (営業期間中のみ)、0277-52-2362



桐生スケートセンターの外観

## 冬季期間限定の屋内リンク

日に日に冷え込みが厳しくなる中、いよいよスケートシーズンが到来。全国各地でスケートリンクが続々とオープンしています。ウィンタースポーツが盛んな群馬県も例外ではありません。県内には5つのスケートリンクがありますが、そのうちのひとつが今回ご紹介する桐生スケートセンターです。

JR両毛線・わたらせ渓谷鐵道わたらせ渓谷線の桐生駅が最寄りの桐生スケートセンターは、冬季限定で営業している屋内リンク。110台の駐車場を完備しているた

め、多くの方は車で来られているようです。

毎年10月の第4日曜日(2019年は27日)にオープンし、翌年3月末まで営業しています。営業時間は、平日は13時から18時、土日祝日は10時から17時で、一般営業時間外には貸切利用も可能です。

## 三世代に親しまれるリンク

桐生スケートセンターの歴史は古く、オープンは今から50年以上前の1964年にさかのぼります。前身の群馬スポーツセンターは民間企業によって運営されていました

が、1972年に桐生市の管理に変わり、現在に至っています。

これだけ歴史が長いと、自分が子どもの頃に通っていた祖父母が孫を連れてくるということもよくあるそうです。三世代にわたり、親しまれている桐生スケートセンター。利用者は県内だけでなく、近隣の栃木や茨城、都内からも数多く訪れます。

## 氷上競技全般の練習場

桐生スケートセンターの魅力は、フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー、カーリングと、氷上競技のほぼすべての種目に対応していることです。リンクの大きさは、フィギュアスケートリンクの国際規格30m×60mよりもひと回り小さい24m×47mですが、練習場として利用する限りは何ら問題ありません。

また、都内のリンクと比べると利用料金はお手頃です。高校生以上の大人は1,010円、子どもは480円。貸靴代(大人380円・子ども170円)を含めても1,500円以下。リンクの管理を行っている公益財団法人桐生市スポーツ文化事業団の大川昇さんによると、「冬



貸靴の数、サイズも充実している



土日祝日は多くのスケーターでにぎわう



子どもや初心者向けの教室も盛んに開催



公益財団法人桐生市スポーツ文化事業団 大川昇さん

季五輪のシーズンは一時的にリンクが混雑することもあります。通常はそこまでではなく、のびのびと滑ることができます」とのことでした。

## 初心者向けの教室を開催

桐生スケートセンターでは、競技の普及と振興を目的として、初心者向けの教室を開催しています。スケート教室では、インストラクターの資格を持つ講師が基本から丁寧に教えてくれます。対象は子ども限定となっていますが、初心者でも気軽に参加できます。アイスホッケー教室は毎年11月頃から計

5回開催する予定です。こちらも対象は子どものみです。

初心者の子どもから何十年もご無沙汰している大人まで楽しめるスケートリンク。氷上で風を切って滑る爽快感は、何事にも代えがたいものです。ぜひ桐生まで足を伸ばして、体験してみてください。

## 何よりも重要な製氷

スケートリンクの運営で一番大変なのが氷を整えること。シーズンが始まる直前、水を撒いては凍らせる作業を繰り返して、まっさらな状態から少しずつ氷を作っていきます。泊まり込みで作業を行っても、20cmの氷が完成するまでに約5日かかります。

シーズン中は毎日の製氷作業が必須です。

「このリンクは建物が古いため、天井に結露が発生しやすいんです。結露が垂れてリンクに水滴がたまると、氷がボコボコになります。それを滑らかにする作業は欠かせません」

また、外の温度や風も氷のコンディションを左右します。天気予報をチェックして、氷の変化を予

測しながら製氷しているとのことでした。

## 電気のトラブルを未然に防止

日頃から当協会のありがたみを感じてくださっているという大川さん。つい最近もこんなことがあったそうです。

「営業開始直後に停電したんです。私たちの手には負えなかったので、ただちに関東電気保安協会さんに来てもらいました。すぐに原因を突き止めてくれて、1時間もしないうちに復旧したのは本当にありがたかったです」

もし夜間に停電が起こったら大変なことになります。ジャンプやスピンをを行うフィギュアスケート、体と体がぶつかり合ってパックが飛び交うアイスホッケーでも、大きな事故につながりかねません。歴史が長いぶん、電気系統のトラブルが起こらないように細心の注意を払う必要があります。

大きなトラブルを未然に防ぐのは当協会の大切な務め。桐生スケートセンターが滞りなく営業できるように、今後も陰ながらサポートしてまいります。